



熊野東中通信 NO.4

友愛・真実・平和

令和2年7月6日号

熊野町立熊野東中学校 〒731-4213 安芸郡熊野町萩原一丁目23番1号

TEL082-854-7111 e-mail: higasijh@piano.ocn.ne.jp

<http://kuma7111.ec-net.jp/>



7月1日(水)・2日(木)・3日(金)に避難訓練を行いました。

校長先生の話 (抜粋)

避難をするときの注意点は、「お・は・し・も」です。おさない、はしらない、しゃべらない、もどらないです。訓練の時から真剣に取り組むことが大切です。本来ならば、全校で避難訓練を行うところですが、三密を避けるため、今年度は各学年で、実施しています。

さて、2年前の7月6日の西日本豪雨では、熊野町も大きな被害を受けてしまいました。当時、本校の2年生だった生徒2名を含め、12名の方が亡くなるという大変痛ましい状況でした。皆さんの中にも、被災して大変な思いをした人も多くいると思います。7月6日には、亡くなられた方のご冥福を祈って、全校で黙祷を捧げたいと思います。

二度と豪雨災害は起きてほしくないと願っていますが、残念ながら、またいつ同じような災害が起きるか分かりません。

西日本豪雨災害、今年のコロナウィルスとこれまでに経験したことのないような事態が次々と起きています。

これからは、ますます自分のことは自分で守る行動が大切になってきます。そのためにも、日頃から、何事も自分の頭で考え、判断して行動することが重要になってきます。もし、大雨や地震などの災害が発生したとき、どこに避難すればよいのか、どう行動すれば良いのかを日頃から考えておくことが自分を、そして家族を守ることに繋がります。できれば、実際に今日のような訓練を繰り返しておくことも重要です。

今日の避難訓練を通して、災害に対する心構えをしっかりとっておきましょう。



救急法講習会

7月1日(水)、2日(木)に、2年生を対象に救急法講習会を行いました。消防署の方に来ていただいて、意識・呼吸の確認、胸部圧迫による心肺蘇生、AEDの使い方などを教えていただきました。初めてのことで最初はどきどきしていたようでしたが、どんどん真剣な表情が増えてきたように思います。先日、あるプロ野球のコーチがAEDを使って人命救助をしたと報道されていました。そのコーチは、一緒に引退をした元広島カープの木村拓也さんが試合前のノック中に倒れて亡くなってから、何度も講習会を受講されていたそうです。助けることができるかもしれない命が目の前で失われそうになっている時、迷うことなく救助の手を差し伸べることができる、そんな素敵な人がたくさんいる熊野町にしましょう。

